

民児協 と よ う ら

豊浦地区民生委員児童委員協議会

第13号 令和7年2月5日発行
事務局：豊浦支所 電話 43-5314

○民生委員児童委員とは

皆藤 順一

茨城県民生委員制度は、大正15年(1926年)制度の起源である「方面委員制度」が設置されてから、来年の2026年で100周年を迎える歴史ある制度ですが、その活動は、余り知られておりません。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された任期3年(再任可)の守秘義務を有する非常勤の地方公務員です。全国では、約24万人が、茨城県では約5200人が、日立市では、約355人が、豊浦地区では14人が、活動しております。その行動規範は、右記に記した「民生委員児童委員信条」に表されます。民生委員児童委員の主たる活動は、「地域住民と行政機関や関係機関とのつなぎ役、橋渡し役」です。

本年(2025年)12月は、任期3年の全国一斉改選年に当たります。“より良い地域社会づくりに”、昨今の“民生委員児童委員なりて不足の解消”に、皆様のご支援とご協力をお願い致します。

民生委員児童信条(行動規範)

1. わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
2. わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
3. わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
4. わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
5. わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

令和6年度の活動を振り返って

○民児協の活動

1. 地区定例会

関根 美智子

毎月第3木曜日を地区民児協の定例会とし、併せて各委員の持つケース検討を通して、委員相互の意見交換及び情報提供を活発に行うことを目指しています。

会の進め方は、日立市民児協「理事会」の報告、主任児童員や機関紙編集委員からの連絡、地区の行事や研修会等の報告や連絡、活動事例紹介等に沿って行われています。

特に活動事例紹介では、各委員が担当区域で困っていることや発生した事象への対応方等々が報告され、

これらに対して各委員から質問や助言があり、経験の浅い私には大変勉強になっています。さらに、ケースワーカーから市内で発生した事象や対応方を丁寧に教えていただき、大変心強く思っております。

これからも担当区域の人々と市行政との架け渡しがスムーズにできるよう心掛け、活動を続けていきたいと思っております。



定例会の様子

2. 県外視察研修に参加して

坂本 貴史

今年度の県外視察研修は、令和6年9月11日に日帰りで実施しました。視察箇所は、福島県双葉郡双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館で、総勢14名が参加しました。

この伝承館は、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故という未曾有の複合災害の経験から、復興への路を歩んできた福島記録と記憶を防災、減災の立場から教訓として未来へ繋いで行くことをコンセプトとして令和2年9月に開館した施設です。

震災当時の様子や展示物があり、また地域住民の語り部を通して、平和な暮らしを一変させた地震・津波・原発事故から改めて防災に関する知識を活かし、未来へ継承していくことが目的であると伺いました。

参加者からは、今後の地域住民への災害時の対応に大変参考になったという感想が聞かれ、とても有意義な研修になりました。



原子力災害伝承館に於いて



○民児協の研修会

1. 主任児童委員研修会

福地 待子

令和6年7月26日、茨城県民児協主催による児童委員・主任児童委員研修会が、ザ・ヒロサワ・シティ会館で約800名の参加者で開催されました。

研修目的は、委員の連携強化と協働による活動の実践、活動の実践発表を通して地域社会全体で支える視点や取り組みについて考えることでした。

活動発表のテーマは「私の主任児童委員活動」、実践

報告は福島県民児協の副会長による「主任児童委員ハンドブックの作成と児童委員の活動活性化について」で、これまでの経験を共有の知恵に変える取り組み内容でした。

研修を受講し、活動の発表と報告で得た知識を参考に、地域活動の大切さを知りました。今後は未来を継ぐ子どもたちの為に、関係機関のパイプ役となり、大切な守秘義務を保ち続けて行きたいと思えます。

○豊浦学区の活動

1. 小・中学校との連絡会

小林 成美

令和6年7月18日に豊浦小・中学校との情報交換を行いました。

豊浦小中の児童生徒数は減少傾向にあり、今後各小中学校に統合が決まり、コミュニティ23箇所のあり方やエリア活動が懸念される問題点や地域と学校が密であり、地域全体で子どもを見守り保護者の方にも寄り添うことで、安心安全なまちづくりができるのではないかと感じました。

時代を担う子ども達の健やかな生活を見守ることが、これからの民児協のあり方であり民生委員の活動内容を見つめ直し深めることができた会議でした。



連絡会の様子

2. 学区内巡視

松本 久司

豊浦学区の児童生徒が夏休みを迎え、安心安全に過ごせるように、令和6年7月22日に学区内巡視を実施しました。巡視は児童生徒が集まって遊ぶ公園等を中心に、海側班と山側班に分かれて行いました。

巡視後、「公園を囲っている生垣が伸びて見通しが悪くなり防犯上よくないので改善を」、「公園で児童生徒の自転車の放置が目立つので看板の設置を」等に関係機関に要請したところ、改善に前向きな回答を得ることができました。



交番での情報収集

○豊浦地区社会福祉協議会と協働活動

1. 高齢者避難訓練

矢代 亨

豊浦地区社協では、令和6年6月29日に日立市の洪水想定合同訓練の一環として、高齢者を対象に川尻団地集会所を一時避難所として実施しました。

対象者7名が参加され、各々支援担当者2名が時間に合わせて自宅に伺い、途中何事もなく、車椅子も使わずに無事避難されました。

避難後は、保健師の健康チェックを受け異常のない

ことを確認した後、東日本大震災や1月元旦に発生した能登半島大震災時の震度7の災害の怖さや被害の甚大さ等で、その後の生活が一変するなどの話し合いをしました。

支援者として福祉施設関係者、市・地区社協、地区民生委員児童委員、保健師、近隣住民の協力がありました。最後に今後の災害時の対応等の意見交換をして終了しました。

2. 赤い羽根大口募金

品田 時夫

令和6年10月17日に赤い羽根をシンボルとする共同募金の一環として、地区社協が大口募金活動を実施したので協力しました。

大口募金は、豊浦地区を5班に分けて行い、開始にあたって募金の意義や注意点等の説明を受けました。訪問箇所には、事前に「募金について」通知していたので、訪問する私達には感謝でした。

今年は全体で47件の事業所等で32万3千円の募金が集まりました。

令和6年度は、「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない」が全国共通テーマです。



募金開始前の打合せ

○編集後記

今年は民生委員児童委員の一斉改選となります。そこで「民児協とようら」のトップで内容の紹介をしました。ご希望のある方は事務局までお電話を。待っています！

さらに来年(2026年)は茨城県民生委員制度100年を迎えようとしています。先輩方が築いてきたこの協議会を継承し、地区住民のために少しでも手助けになるよう努力していきます。皆さまのご理解とご協力がいただければ幸いです。

【編集委員：上山、小林(成)、皆藤、國井】



茨城県民生委員児童委員

キャラクター「茨城ミンジー」